1　第27期誓願出陣式
2　羅針盤　住宅のすべてを躍進に！
3　今年も「春の床下トリオ」が始動！
4　床下点検で害虫駆除もいっしょに！
5　躍進が考える木材と日本文化　⑧
7　ランドリールームを考える

第27期誓願出陣式

笠井正行代表取締役社長（最前列右から4人目）、笠井輝夫代表取締役会長（最前列左から4人目）を中心に関係者一同が集い、第27期の目標達成に向けて固く決意表明をしました。

躍進は、去る2025年2月8日土曜日に「第27期誓願出陣式」を開催いたしました。かねてより申し上げていますが、2020年の22期に「2030年までの10年間で20代と30代の青年で運営・経営できる組織作りの宣言、旗揚げ」をしております。そして今期はその前半の最終年に当たる折り返し直前の1年なのです。

若手の育成とともに、我々の目標は、受注、受注利益、売上、売上利益、回収の5冠達成です。2025年度のスローガン、テーマである「価値創造の3作り！ お客様第一主義を貫き通す！」に基づいて必ず5冠達成します。今期も躍進をよろしくお願いいたします！

住宅のすべてを躍進に！

㈱躍進代表取締役会長
笠井輝夫

羅針盤

点検から快適な住まいづくりまで、すべてお任せください！

今回は株式会社躍進の原点に立ち戻り、改めて業務のご案内をさせていただきます。そして、「地域のホームドクター」として、お客様の大切な住まいを守るために、点検から快適な住まいづくりまでトータルサポートいたします。家の状態をしっかり把握し、必要なメンテナンスや間取り変更など、お客様のご要望に寄り添ったご提案を行います。

点検から始まる住まいの健康診断

まずは、床下の点検を行い木材の延命施工を施します。目に見えない部分も徹底調査し、シロアリや湿気（腐朽菌）による劣化を防止いたします。このように、木材を長持ちさせるための最適な施工を実施します。さらに外壁・バルコニーの劣化チェックも実施し、雨風や紫外線によるダメージも見逃さず、適切な防水・塗装を提案いたします。そして耐久性を高め、見た目も美しくリフレッシュさせます。

快適な住まいづくりのご提案

特にご依頼が多いのは、家族構成の変化に合わせた間取り変更です。お子様の成長、二世帯同居、バリアフリー化、収納の増設、動線の見直し、省エネリフォームなど、より住みやすい空間へと華麗なる模様替えをして、より一層快適な暮らしを実現いたします。もちろん保証付きの安心施工を実施しておりますので、点検で発見した不具合には最適な補修プランをご提案し、長期的に安心できる住まいに仕上げます。

住まいのお悩みやご要望、なんでもお任せください！

私たち躍進は、前述のように「地域のホームドクター」として、お客様の大切な住まいを見守り、最適なメンテナンス・リフォームでより快適な住環境を提供しております。住まいの健康診断から間取り変更、リフォームまで、すべて躍進にお任せください！

今年も「春の床下トリオ」が始動！

躍進のリフォーム総合提案「足場パック」のスプリングキャンペーンがはじまりました。そしてその代名詞が、もうすっかりおなじみになった**『飛騨炭　床下調湿材』『カーボエース』『床下用攪拌・換気システム』**の**「床下３点セット」（写真参照）**です。

セラミック炭から作られた脱臭調湿材『飛騨炭　床下調湿材』は、床下に１坪あたり約12袋敷つめるだけで床下の湿気をコントロールします。底面をフィルム加工してありますので地面からの湿気もシャットアウトします。

同じく、セラミック炭から作られた土壌改良材『カーボエース』は、保肥性、保水性に優れ、病害虫の発生を抑制します。また、土中から放出されるガスを吸着するほか、ph調整機能、土中有効微生物の繁殖促進効果もあります。

『床下用攪拌・換気システム』は、中央部設置によるダイレクト換気（新方式）により１台で20坪までの床下をカバーします。これは、従来の床下換気扇３台分に相当します。換気と撹拌機能を同時に搭載した高効率換気システムであり、床下中央部の高湿エリアをダイレクトに撹拌換気します。これにより、布基礎や基礎パッキン工法、基礎断熱工法等、あらゆる構造の床下に設置可能です。

春の床下トリオである「床下３点セット」のご注文、お問い合わせは躍進までお気軽に。

床下点検で害虫駆除もいっしょに！

床下点検が本格化する季節が到来しました。躍進ではこれまで多くの住宅の床下点検業務を実施しています。5年点検では、床下のシロアリと腐朽菌、排水管系の水漏れ等を確認しています**（写真参照）**。そしてお風呂場床下の排水管の汚れも発見します。さらにシロアリ以外の害虫に遭遇することもしばしばです。こうした害虫駆除も躍進にお任せください。

躍進は「地域のホームドクター」として、地元を中心に多くの皆様の暮らしを見つめております。幸せなホーム（家庭）を実現するには、その入れ物であるハウス（住宅）が健全でなければなりません。そして、肝心なのは、治療だけでなく、「住まいの予防医学」を実践することです。その中でも、床下点検は、「住まいの予防医学を実践する地域のホームドクター・躍進」の背骨ともいえる部分です。

シロアリや腐朽菌によって、食害・侵食された家屋の耐久性は著しく低下します。耐震強度も下落し、新築当初の性能は保証できません。もし大きな地震等に遭い、家が傾くほどの損傷を受けた場合、その資産価値はゼロになってしまうのです。そのため、床下点検を行い、土台や束などの木材の状態をチェックし、適切な処置を施さなくてはなりません。

床下点検は前述の通り、まず土台や束などの木材の状態をチェックします。点検で蟻害や羽蟻の発生を確認するのですが、浴室などの水周りだけでなく、玄関にも羽蟻が発生しやすく見落としがちになります。また、前述のように様々な害虫もたくさん存在します。

こうした点を満遍なくチェックするのが、「地域のホームドクター」です。そして、「住まいの予防医学」を実践し、地域の皆様のご期待に応えるため、2025年も大いに活躍してまいります。床下点検からはじまる家の安心・安全は、「お客様第一主義」の躍進におまかせを。ご依頼、ご相談などお気軽にご連絡ください！

躍進が考える 木材と日本文化 ⑧

㈱躍進代表取締役会長
笠井輝夫

まずは、「百聞は一見に如かず」です。下の施工例写真の「ビフォーアフター」をご覧ください。

これは、2025 年 1 月 17 日に、埼玉県神社庁で実施された躍進が誇る『Air 鉋』の施工実績（施工前、施工後）です。**前ページ上段の写真が木板表札、そして同下段左の写真が玄関天上、同じく下段右の写真が玄関引き扉**です。

以前にもご説明いたしましたが、『Air 鉋』の最大の特長は、水を使わずに神社仏閣の美しさを取り戻すことです。

これは、空気と植物性粉体を対象物に噴射し汚れや劣化層、古くなった既存の塗膜を数ミクロ単位で削り取るなどを施し、美観の再生や木材の長寿命化を目的として開発された乾式工法です（特許第 6206898 号）。

植物性粉体の種類や圧力を変化させることで「払う」「削る」「剥ぐ」「粗す」の 4 役を 1 台で行うことができます。

「払う」は、垢や汚れを刷毛のように優しく払うことができます。強弱は無段階に調整ができるため、繊細さを要する彫刻や重要文化財にも採用されています。

「削る」は、木材の表面を数ミクロンから数センチまで削ることができます。劣化層やカビ・木材腐朽菌の除去、浮造り加工などの意匠性に対応できます。

「剥ぐ」は、基材を痛めることなく既存の劣化塗膜を剥離できます。複雑な形状でも短時間できれいに剥離が可能です。

「粗す」は、水性塗料による塗装の付着強度を高めるための、木材の表面を粗すなどの下地処理（足付け作業）が行えます。

新築時の良さを 100％再現

埼玉県神社庁の表札にはヒノキが用いられています。ヒノキは油分が多いため着色しにくく耐朽性・耐虫性に優れています。だからこそこのような美しさが甦るのです。

しかし神社仏閣は、ヒノキだけで構成さているわけではありません。様々な樹種が用いられますが、一般の木造住宅のように 25～50 年で建て替えるわけではないのです。何百年も持たせることを前提とし建物自体に魂を込めていくのです。もちろん見た目は劣化しますが、『Air 鉋』を用い表面処理を施すことで新築時の良さを 100％再現できるのです。

詳細は、躍進のホームページをご覧ください（https://yakushin.jp/air_kanna/）。お問い合わせ、ご依頼の連絡をお待ちしております。

ランドリールームを考える 住宅コラム

ある通販業者が実施した、「令和の共働き世帯の洗濯事情」という調査によれば、室内干しをしている家庭は全体の72.1%、うち49.5%が「常時」室内干しをしており、「一時的」な室内干しについても47.3%で、大半を占めているという結果を得ています。

そこでにわかに注目を集めているのがランドリールームです。文字通り洗濯室ですが、これは一般の家庭にみられるような、洗濯機が置いてある風呂場の脱衣所や洗面所とは違い、洗って干して取り込むだけでなく、洗濯物のアイロンがけや畳み込みまで一貫して作業ができてしまうスペースです。

しかし都心の狭小住宅においてランドリールームを設ける余裕はないのが現実です。それでも同調査において、室内干しをする理由として最も多かったのは、「季節性（梅雨、ゲリラ豪雨・花粉／PM2.5など）の外的影響を受けたくない」（72.0%）で、「天気に左右されるのが嫌だから」（43.0%）が挙げられました。

同時に、室内干しに関する悩みも挙げられました。最も多かったのは言うまでもなく「乾きにくい」（52.7%）です。次いで「部屋干し臭」（47.3%）です。あと目立った回答としては、「生活感が出る」「邪魔になる」（ともに46.2%）という、空間に対する美観や機能に関する回答が上位を占めたのです。

そこで注目され始めたのがランドリールームです、しかしこの設置の際に一番気を付けなければならないのは最も合理的な動線確保です。理由は言うまでもなく合理的な洗濯作業実現に他なりません。

現在は、中高年夫婦であっても共働きは珍しくありません。そんなご家庭においては、家事をいかに効率的に行うかが大きな課題となっているのです。日が沈むまでに奥様が帰宅できなかったり、そもそも家事に充てる時間そのものが十分にとれなかったりという悩みを解消するためのご提案としては持って来いでしょう。

ランドリールームがあれば天候を気にしないで洗濯ができ、何よりも生活スペースに部屋干しせずに済みます。また花粉や黄砂、PM2.5付着の防止にもなります。スペースに余裕があるお施主様への新築ご提案にはランドリールームが大きなポイントになるでしょう。

株式会社 躍進
本　社 〒337-0043 埼玉県さいたま市見沼区中川106-1 TEL048-688-3388 FAX048-680-7615
東京営業所 〒107-0062 東京都港区南青山2-2-8 DFビル2F TEL03-6804-2541 FAX03-6804-2542
URL=http://www.yakushin.jp　E-mail=yakushin-no1@nifty.com
関連会社 不動産事業 株式会社ヤクシンジャパン
関連会社 株式会社 First Arrows ファーストアローズ
事業内容
防水工事：FRP、ウレタン、塩ビシート、ゴムシート、アスファルトシーリング、注入、ピンニング、シングル葺き
木材保存工事：床下点検、シロアリ駆除及び予防、調湿剤、床下換気 等
塗装工事：各種塗装
外部点検：屋根、陸屋根、バルコニー、外壁 等診断